

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

1 令和2年第6回定例会提出予定議案の説明

(7) 議案第187号 柿生学園の指定管理者の指定について

資料1 指定管理者指定議案に係る参考資料

令和2年11月18日

健康福祉局

議案第 187号参考資料

1 管理を行わせる公の施設の概要

(1) 名称	柿生学園
(2) 所在地	川崎市麻生区五力田 2 丁目 20 番 10 号
(3) 設置条例	川崎市心身障害者総合リハビリテーションセンター条例
(4) 設置目的	重度の知的障害者について、日中及び夜間において日常生活上の支援を行うとともに、生産活動や創作活動の機会を提供し、もって障害者の自立の促進及び福祉の増進を図ること。
(5) 施設の事業内容	<p>ア 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という。）第 5 条第 7 項に規定する生活介護に関すること。</p> <p>イ 障害者総合支援法第 5 条第 10 項に規定する施設入所支援に関すること。</p> <p>ウ 障害者総合支援法第 5 条第 8 項に規定する短期入所に関すること。</p> <p>エ 障害者総合支援法第 5 条第 18 項に規定する一般相談支援に関すること。</p> <p>オ 障害者総合支援法第 5 条第 18 項に規定する特定相談支援に関すること。</p> <p>カ 居宅において介護を行う者の疾病、その他の理由により、介護を必要とする障害者総合支援法第 4 条第 1 項に規定する障害者に対する、昼間における排せつ又は食事の介護、その他の便宜の供与に関すること（「日中一時支援」）</p> <p>キ 施設の維持管理に関すること。</p> <p>ク その他施設の設置目的を達成するために必要な業務</p>
(6) 現在の管理者	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団
(7) 現在の管理運営費	5年平均（平成28～令和2年度）31,655千円

2 指定管理者となる団体の概要

名 称	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団
所 在 地	川崎市高津区久地三丁目 13 番 1 号
代 表 者 名	理事長 成田 哲夫
設 立 年 月	昭和 61 年 2 月 1 日
基 本 財 産 又は資本の額	基本財産 24 億 1,960 万 1,708 円（令和 2 年 3 月 31 日現在）
職 員 数 又は従業員数	理事 6 名、監事 2 名、常勤職員 797 名
設 立 目 的	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。
事 業 概 要 (令和 2 年度)	<p>(1) 第 1 種社会福祉事業</p> <p>ア 障害者支援施設</p> <p>イ 特別養護老人ホーム</p>

	<p>(2) 第2種社会福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 身体障害者福祉センター イ 障害福祉サービス事業 ウ 地域活動支援センター エ 一般相談支援事業・特定相談支援事業・障害児相談支援事業 オ 老人短期入所事業 カ 老人デイサービス事業 キ 介護保険法に基づく第1号通所介護事業 ク 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業 ケ 老人介護支援センター コ 保育所 サ 児童厚生施設（児童館） シ 放課後児童健全育成事業 ス 地域子育て支援拠点事業 セ 障害児通所支援事業 <p>(3) 公益事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 居宅介護支援事業 イ 地域包括支援センター ウ シルバーハウジング生活援助員派遣事業 エ 地域生活支援事業 オ 障害者センター 																																		
<p>決算 (令和元年度)</p>	<table border="0"> <tr> <td>① 事業活動収支</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 収入</td> <td>6, 581, 304, 859円</td> </tr> <tr> <td> 支出</td> <td>6, 064, 677, 612円</td> </tr> <tr> <td> 事業活動収支差額</td> <td>516, 627, 247円・・・(1)</td> </tr> <tr> <td>② 施設整備等収支</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 収入</td> <td>136, 882, 420円</td> </tr> <tr> <td> 支出</td> <td>378, 773, 070円</td> </tr> <tr> <td> 施設整備等収支差額</td> <td>▲241, 890, 650円・・・(2)</td> </tr> <tr> <td>③ その他の活動収支</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 収入</td> <td>292, 422, 401円</td> </tr> <tr> <td> 支出</td> <td>74, 304, 814円</td> </tr> <tr> <td> その他の活動収支差額</td> <td>218, 117, 587円・・・(3)</td> </tr> <tr> <td>(1) + (2) + (3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 当期資金収支差額合計</td> <td>492, 854, 184円・・・(4)</td> </tr> <tr> <td> 前期末支払資金残高</td> <td>3, 635, 405, 939円・・・(5)</td> </tr> <tr> <td>(4) + (5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 当期末支払資金残高</td> <td>4, 128, 260, 123円</td> </tr> </table>	① 事業活動収支		収入	6, 581, 304, 859円	支出	6, 064, 677, 612円	事業活動収支差額	516, 627, 247円・・・(1)	② 施設整備等収支		収入	136, 882, 420円	支出	378, 773, 070円	施設整備等収支差額	▲241, 890, 650円・・・(2)	③ その他の活動収支		収入	292, 422, 401円	支出	74, 304, 814円	その他の活動収支差額	218, 117, 587円・・・(3)	(1) + (2) + (3)		当期資金収支差額合計	492, 854, 184円・・・(4)	前期末支払資金残高	3, 635, 405, 939円・・・(5)	(4) + (5)		当期末支払資金残高	4, 128, 260, 123円
① 事業活動収支																																			
収入	6, 581, 304, 859円																																		
支出	6, 064, 677, 612円																																		
事業活動収支差額	516, 627, 247円・・・(1)																																		
② 施設整備等収支																																			
収入	136, 882, 420円																																		
支出	378, 773, 070円																																		
施設整備等収支差額	▲241, 890, 650円・・・(2)																																		
③ その他の活動収支																																			
収入	292, 422, 401円																																		
支出	74, 304, 814円																																		
その他の活動収支差額	218, 117, 587円・・・(3)																																		
(1) + (2) + (3)																																			
当期資金収支差額合計	492, 854, 184円・・・(4)																																		
前期末支払資金残高	3, 635, 405, 939円・・・(5)																																		
(4) + (5)																																			
当期末支払資金残高	4, 128, 260, 123円																																		

3 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画

項 目	事業内容
施設の管理運営に係る基本方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用者一人ひとりの心に届く丁寧な支援と信頼される施設」を目指し、コンプライアンスの徹底を図り、質の高いサービスを提供する。 ・地域や関係機関との連携を図り、障害者支援施設として地域連携と地域貢献に取り組む。
障害者支援に対する考え方、方向性、取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や障害状況に応じて、個々の意思決定を尊重した支援を提供する。 ・ノーマライゼーションの理念に基づき、多様化・重度化する利用者の障害特性を十分に理解し、様々な場面で自己選択と意思決定を尊重できるような専門性の高い支援提供を目指す。
災害時に備えた危機管理体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練を実施し、避難経路の確認や緊急連絡訓練などに取組み、防災意識を高める。 ・様々な災害に対して的確な対応ができるよう、「災害対策会議」を定期的開催し、BCPの見直しや備蓄品の検討、非常食の準備等災害対策に努める。
研修体制など、職員の資質向上に向けた取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修や資格取得研修へ積極的に参加するとともに、参加できなかった職員に対しても伝達研修を行い、職員全体の能力の向上につなげる。 ・虐待防止や権利擁護に関する研修及び支援技術研修について、それぞれ外部講師による内部研修を実施し、多くの職員が学び考える機会を設ける。
上乘せ提案	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害や自閉症の支援力を強化し、専門職の育成と障害福祉の促進に努める。 ・利用者の能力、身体機能、希望する生活等を受け止め、施設内のサービス提供以外も視野に入れた地域移行のための包括的支援を実施する。 ・高齢化、障害の重度化により摂食・嚥下機能が低下した利用者に対し、専門職が連携し支援を行い、献立や食事形態を工夫し食事提供を行う。

6 収支計画

(単位：千円)

項 目	金額（消費税及び地方消費税を含む。）					合 計
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
収 入	546,457	546,457	546,457	546,457	546,457	2,732,285
指定管理料	33,682	33,682	33,682	33,682	33,682	168,410
自立支援費等収入	367,315	367,315	367,315	367,315	367,315	1,836,575
川崎市加算	106,473	106,473	106,473	106,473	106,473	532,365
その他の収入	38,987	38,987	38,987	38,987	38,987	194,935
支 出	512,319	514,696	517,040	519,279	521,489	2,584,823

別紙

柿生学園の指定管理予定者の選定結果について

1 応募状況

応募団体：1団体（社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団）

2 指定管理者選定評価委員会委員

- 【学識経験者】 赤塚 光子（元立教大学コミュニティ福祉学部教授）
- 【学識経験者】 柳田 正明（山梨県立大学人間福祉学部教授）
- 【学識経験者】 行實 志都子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部准教授）
- 【学識経験者】 渡部 匡隆（横浜国立大学大学院教育学研究科教授）
- 【財務の専門家】 内野 恵美（公認会計士）

3 選定理由

現在の指定管理者として、当該施設の管理運営を適切に行っており、利用者の高齢化・重度化による生活上の負担を考慮しながら、個々の意思を尊重した支援がされている。また、強度行動障害や自閉症への職員の支援力を向上させるための取組など、移管する業務に関して、募集要項のサービス水準を上回る提案がされている。さらに、事業や収支の計画も妥当と言え、安定した施設運営が見込まれること等を評価し、当該団体を選定した。

(1) 施設の設置目的の達成とサービスの向上

利用者支援に対する考え方やサービスの提供方法等が適切であり、団体の運営実績などの強みを活かした事業計画や災害時に備えた危機管理体制の整備についての提案を評価した。

(2) 施設機能の発揮と管理経費の縮減

施設運営にかかる経費の積算及び経費縮減策が概ね妥当であった。

(3) 事業の安定性及び継続性の確保への取組

業務改善に向けた取組及び職員の配置や人材確保策、研修体制などの職員の資質向上に向けた取組について、提案内容が適切であった。

(4) 応募団体自身に関する項目

当該施設を管理運営するにふさわしい理念及び運営実績を有しており、財務状況に問題はなく、安定した財政基盤を有している点などを評価した。

(5) 応募団体の取組に関する事項

個人情報保護に対する管理体制やコンプライアンスについての提案内容が適切であった。

(6) その他の事項

地域における公益的な活動や、市内中小企業者の優先発注に関する取組についての提案内容が適切であった。

4 審査結果 (※基準点630点以上)

選定基準	配点	社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団
① 施設の設置目的の達成とサービスの向上	350点	223点
② 施設機能の発揮と管理経費の縮減	225点	138点
③ 事業の安定性及び継続性の確保への取組	200点	124点
④ 応募団体自身に関する事項	150点	99点
⑤ 応募団体の取組に関する事項	75点	45点
⑥ その他の事項	50点	31点
実績評価点		39点
総計	1050点	699点

5 提案額

年 額 33,682,000円
指定期間計 168,410,000円